

# 決算補足説明資料

2015年度(2016年3月期)第3四半期 決算概要

2016年1月28日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。  
実際の業績等は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

# ***I . 2015年度(2016年3月期) 第3四半期決算概要***

# 連結損益比較表(サマリー)

	2015年度3Q末	2014年度末	
連結子会社	94社	91社	+3社
持分法適用関連会社	10社	10社	—
計	104社	101社	+3社

増加:3社

(単位:百万円)

	2015年度 3Q累計	2014年度 3Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	496,238	522,501	△26,262	△5.0%	
営業利益	79,931	83,920	△3,989	△4.8%	次ページ参照
営業外収益	8,400	6,296	+2,104		
営業外費用	10,692	12,136	△1,443		
経常利益	77,640	78,081	△441	△0.6%	
特別利益	11,460	4,578	+6,881		工事負担金等受入額 +9,814 投資有価証券売却益 △2,846
特別損失	13,949	8,067	+5,881		固定資産圧縮損 +9,875 投資有価証券売却損 △4,857
親会社株主に帰属する 四半期純利益	49,209	47,973	+1,235	+2.6%	
(参考)					
減価償却費	39,656	39,309	+347		
金融収支(A)-(B)	△8,467	△9,289	+822		
受取利息及び配当金(A)	1,022	1,436	△414		
支払利息(B)	9,490	10,726	△1,236		

# セグメント別営業成績(サマリー)

当期業績のポイント : 都市交通事業及びホテル事業が好調に推移した一方で、不動産事業のマンション分譲において、当期の竣工・引渡しが第4四半期に集中することから、分譲戸数が前年同期を下回ったこと等により、減収・減益

(単位:百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・ コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
<b>営業収益</b>									
2015年度3Q累計	179,911	132,331	83,056	24,091	27,625	51,818	23,621	△26,219	496,238
2014年度3Q累計	174,206	165,284	84,280	25,737	28,837	47,451	24,205	△27,499	522,501
比較増減	+5,705	△32,952	△1,223	△1,645	△1,211	+4,367	△583	+1,280	△26,262
<b>営業利益</b>									
2015年度3Q累計	34,548	26,735	14,039	1,320	1,240	3,754	131	△1,838	79,931
2014年度3Q累計	30,913	35,046	14,237	2,452	2,059	1,116	235	△2,140	83,920
比較増減	+3,634	△8,310	△197	△1,131	△819	+2,638	△104	+301	△3,989

## 都市交通セグメント

鉄道事業において、沿線人口の増加や訪日外国人旅行客の増加等により阪急線・阪神線が好調に推移したことや、消費税率引上げによる影響から回復したことに加え、自動車事業において空港線が好調に推移したこと等により、増収・増益

	(単位:百万円)			
	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	179,911	174,206	+5,705	+3.3%
営業利益	34,548	30,913	+3,634	+11.8%

## 不動産セグメント

マンション分譲において、当期の竣工・引渡しが第4四半期に集中することから、分譲戸数※が前年同期を下回った(△728戸:前年同期1,278戸→当期550戸)こと等により、減収・減益 ※当社グループの持分戸数

	(単位:百万円)			
	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	132,331	165,284	△32,952	△19.9%
営業利益	26,735	35,046	△8,310	△23.7%

# 《都市交通》 鉄道運輸成績

## 《阪急電鉄》

	収入				人員			
	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	47,396	45,713	+1,682	+3.7	240,423	231,835	+8,587	+3.7
定期	24,430	23,846	+583	+2.4	249,164	243,580	+5,583	+2.3
うち通勤	20,848	20,358	+489	+2.4	170,338	166,943	+3,394	+2.0
うち通学	3,581	3,487	+94	+2.7	78,825	76,636	+2,188	+2.9
合計	71,826	69,559	+2,266	+3.3	489,587	475,416	+14,171	+3.0

消費税率引上げ影響からの回復 約+5億円

## 《阪神電気鉄道》

	収入				人員			
	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	15,959	15,335	+624	+4.1	88,041	84,401	+3,640	+4.3
定期	8,586	8,390	+196	+2.3	89,505	87,630	+1,875	+2.1
うち通勤	7,654	7,487	+167	+2.2	70,028	68,791	+1,237	+1.8
うち通学	932	903	+29	+3.2	19,476	18,838	+638	+3.4
合計	24,546	23,726	+820	+3.5	177,546	172,031	+5,515	+3.2

消費税率引上げ影響からの回復 約+1.5億円

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示している。  
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいる。  
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計である。

## エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

2014年10月1日付で出版事業の一部を外部化した影響等により減収。利益面では、当期は阪神タイガースが日本シリーズに進出できなかったこと等により減益

出版事業の一部外部化影響  
営業収益 約△19億円

(単位:百万円)

	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	83,056	84,280	△1,223	△1.5%
営業利益	14,039	14,237	△197	△1.4%

## 旅行セグメント

国内旅行において、北陸新幹線の開業等が話題となった北信越方面等の集客が好調に推移したものの、海外旅行において、円安や国際情勢悪化による厳しい事業環境が続き、主軸のヨーロッパ方面等の集客が減少したことにより、減収・減益

(単位:百万円)

	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	増減率
営業収益	24,091	25,737	△1,645	△6.4%
営業利益	1,320	2,452	△1,131	△46.2%

## 国際輸送セグメント

海外法人において、米国・欧州では航空輸送を中心に堅調に推移したものの、東アジア・アセアンで中国経済の減速の影響等により若干弱い動きとなったことに加え、日本法人において、航空輸出需要の落ち込みが続いたこと等により、減収・減益

	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	(単位:百万円) 増減率
営業収益	27,625	28,837	△1,211	△4.2%
営業利益	1,240	2,059	△819	△39.8%

## ホテルセグメント

訪日外国人旅行客の増加と堅調な国内需要を背景として、稼働率・客室単価が上昇したことにより宿泊部門が大幅に増収となったほか、レストラン部門も好調に推移したこと等により、増収・増益

	2015年度3Q累計	2014年度3Q累計	比較増減	(単位:百万円) 増減率
営業収益	51,818	47,451	+4,367	+9.2%
営業利益	3,754	1,116	+2,638	+236.4%



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

		2015年度3Q末	2014年度末	比較増減	備考									
資産の部	流動資産	256,108	254,188	+1,919										
	固定資産	2,016,791	2,025,449	△8,658	有形・無形固定資産 △15,190 投資有価証券 +8,384 など									
	資産合計	2,272,899	2,279,638	△6,738										
負債の部	流動負債	442,583	471,774	△29,191	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">連結有利子負債</th> </tr> <tr> <th>2015年度3Q末</th> <th>2014年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>960,592</td> <td>955,828</td> <td>+4,764</td> </tr> </tbody> </table> 未払金 △17,308 支払手形及び買掛金 △13,119 未払法人税等 △12,236 など	連結有利子負債			2015年度3Q末	2014年度末	比較増減	960,592	955,828	+4,764
	連結有利子負債													
	2015年度3Q末	2014年度末	比較増減											
960,592	955,828	+4,764												
固定負債	1,121,497	1,128,381	△6,883											
負債合計	1,564,081	1,600,155	△36,074											
純資産の部	株主資本	665,910	634,479	+31,430	親会社株主に帰属する四半期純利益 +49,209 支払配当 △8,227(うち中間配当(12月支払) △4,430) 自己株式 △3,726(うち自己株式買付 △3,599) 企業結合会計基準の遡及適用影響 △5,027 など									
	その他の包括利益累計額	26,275	28,116	△1,841	その他有価証券評価差額金 △1,057 など									
	新株予約権	424	318	+105										
	非支配株主持分	16,209	16,566	△357										
	純資産合計	708,818	679,482	+29,336										

## ***Ⅱ. 2015年度(2016年3月期) 通期業績予想***

# 連結損益比較表(サマリー)

	2015年度 今回予想	2015年度 10月予想	比較増減	増減率	主な増減要因	2014年度 通期実績	比較増減
	①	②	=①-②			③	=①-③
営業収益	7,150	7,100	+50	+0.7%	鉄道事業において、阪急線・阪神線の運輸収入が想定を上回る見込みであることや、ホテル事業が宿泊部門を中心に好調に推移していること等を踏まえ、前回(2015年10月)発表予想から上方修正	6,859	+291
営業利益	1,100	1,050	+50	+4.8%		940	+160
経常利益	1,050	1,000	+50	+5.0%		856	+194
親会社株主に帰属する 当期純利益	670	640	+30	+4.7%		542	+128

(単位:億円)